



## 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月17日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 鶴見製作所  
 コード番号 6351 URL <http://www.tsurumipump.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻本 治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 上田 孝徳  
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日

TEL 06-6911-2351  
 2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	43,461	7.7	4,945	6.6	5,734	21.9	4,013	23.5
2018年3月期	40,347	3.3	4,637	8.0	4,703	3.7	3,248	6.0

(注) 包括利益 2019年3月期 3,427百万円 (△12.3%) 2018年3月期 3,910百万円 (14.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	160.29	—	7.0	8.1	11.4
2018年3月期	129.76	—	6.0	7.0	11.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	72,160	59,405	81.1	2,338.55
2018年3月期	68,699	56,642	81.2	2,227.01

(参考) 自己資本 2019年3月期 58,553百万円 2018年3月期 55,760百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	3,455	△2,808	△573	13,523
2018年3月期	4,160	△1,451	△652	13,323

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	600	18.5	1.1
2019年3月期	—	13.00	—	18.00	31.00	776	19.3	1.4
2020年3月期(予想)	—	14.00	—	16.00	30.00		20.3	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,300	1.2	1,850	2.1	2,100	△18.2	1,500	△16.5	59.91
通期	45,000	3.5	5,000	1.1	5,200	△9.3	3,700	△7.8	147.77

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期	27,829,486 株	2018年3月期	27,829,486 株
----------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2019年3月期	2,791,230 株	2018年3月期	2,791,024 株
----------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数

2019年3月期	25,038,304 株	2018年3月期	25,038,532 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10
(セグメント情報) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、相次いだ自然災害の影響はありましたが、政府や日銀の各種政策を背景として雇用及び所得環境や企業収益の改善、個人消費の持ち直しなど引き続き緩やかな回復基調で推移しました。

また、海外経済におきましては、全体としては緩やかな回復が期待されるものの、米国の保護主義政策に伴う貿易摩擦への懸念や中国経済の減速など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「BASE100」の初年度キーワードを「深謀遠慮」として、あらゆる可能性を追求し、綿密な計画のもと業績の向上に努めました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は43,461百万円と前連結会計年度と比べ3,114百万円(7.7%)の増収、営業利益は4,945百万円と前連結会計年度と比べ308百万円(6.6%)の増益、経常利益は5,734百万円と前連結会計年度と比べ1,030百万円(21.9%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は4,013百万円と前連結会計年度と比べ764百万円(23.5%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 日本

国内部門につきましては、建設機械市場におきまして、レンタル業者向け的水中ポンプ、高圧洗浄機などの販売台数が堅調に推移し、売上高は増加しました。

設備機器市場におきましては、鉄鋼・電力市場の売上が微増となり、工場設備向け脱水機の需要も堅調に推移しましたが、水処理プラントなどの売上が減少した結果、売上高は微減となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は39,263百万円(前期比5.7%増)、セグメント利益は4,090百万円(前期比4.4%増)となりました。

#### 北米

北米市場におきましては、建設市場及び鉱山市場が引き続き堅調に推移し、売上高は増加しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は7,280百万円(前期比19.2%増)、セグメント利益は916百万円(前期比20.0%増)となりました。

#### 中国

中国市場におきましては、景気の減速感があるものの、ポンプ需要が回復基調で推移したことから、売上高は増加しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は3,509百万円(前期比29.9%増)、セグメント利益は352百万円(前期比72.5%増)となりました。

#### その他

東南アジア地域におきましては、香港・シンガポール市場での建設ポンプの需要が減少しましたが、インフラ物件と設備市場受注により全体的な売上高は増加しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は6,274百万円(前期比13.4%増)、セグメント利益は548百万円(前期比29.5%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては72,160百万円と前連結会計年度末に比べ3,461百万円増加しました。

これは、主にたな卸資産が1,442百万円、有形固定資産が1,410百万円、長期貸付金の増加等により投資その他の資産のその他が642百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債につきましては12,755百万円と前連結会計年度末に比べ698百万円増加しました。

これは、主に支払手形及び買掛金が465百万円、未払法人税等が262百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産につきましては59,405百万円と前連結会計年度末に比べ2,763百万円増加しました。

これは、主に利益剰余金が3,387百万円増加し、その他有価証券評価差額金が599百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物は、前連結会計年度と比べ200百万円増加し13,523百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は3,455百万円(前連結会計年度比704百万円減少)となりました。

これは、主にたな卸資産の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は2,808百万円(前連結会計年度比1,357百万円増加)となりました。

これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は573百万円(前連結会計年度比78百万円減少)となりました。

これは、主にセール・アンド・リースバックによる収入の発生によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	81.1	81.2	81.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	62.9	68.2	68.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	26.4	36.1	45.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	647.9	481.2	397.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれの指標も連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、一部に弱さが残るものの、引き続き緩やかな回復基調で推移することが期待されますが、米国の通商政策が世界経済に与える影響、中国経済の動向、世界経済の不確実性や金融資本市場の変動等によるリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループにおきましては、中期3ヶ年経営計画「BASE100」の2年目として、綿密な計画のもと課題を着実に実行することで業績の向上に努めてまいります。

当社グループの2020年3月期の連結業績予想としましては、売上高45,000百万円、営業利益5,000百万円、経常利益5,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,700百万円を見込んでいます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRSにつきましては、他社の適用動向等諸情勢を考慮し、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	13,566	13,523
受取手形及び売掛金	18,007	18,082
有価証券	1,690	1,760
商品	939	1,032
製品	3,253	3,519
半製品	1,212	1,444
仕掛品	955	1,466
原材料及び貯蔵品	1,657	1,999
その他	487	874
貸倒引当金	△35	△45
流動資産合計	41,734	43,657
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	7,161	7,803
減価償却累計額	△4,483	△4,648
建物及び構築物（純額）	2,677	3,154
機械装置及び運搬具	2,959	2,906
減価償却累計額	△2,547	△2,391
機械装置及び運搬具（純額）	411	514
工具、器具及び備品	2,018	2,148
減価償却累計額	△1,803	△1,867
工具、器具及び備品（純額）	215	280
土地	7,547	7,710
リース資産	—	81
減価償却累計額	—	△1
リース資産（純額）	—	80
建設仮勘定	282	804
有形固定資産合計	11,135	12,545
<b>無形固定資産</b>		
投資その他の資産	588	629
投資有価証券	13,164	12,311
退職給付に係る資産	153	60
繰延税金資産	49	443
その他	2,028	2,670
貸倒引当金	△1	△3
投資損失引当金	△154	△154
投資その他の資産合計	15,241	15,328
固定資産合計	26,964	28,503
資産合計	68,699	72,160

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,956	6,421
未払法人税等	781	1,043
賞与引当金	681	773
その他	2,582	2,411
流動負債合計	10,001	10,650
固定負債		
社債	700	700
長期借入金	800	800
繰延税金負債	154	120
役員退職慰労引当金	155	169
退職給付に係る負債	188	173
その他	57	141
固定負債合計	2,055	2,104
負債合計	12,057	12,755
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896
利益剰余金	42,486	45,874
自己株式	△2,402	△2,402
株主資本合計	53,170	56,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,069	1,470
為替換算調整勘定	544	561
退職給付に係る調整累計額	△22	△35
その他の包括利益累計額合計	2,590	1,996
非支配株主持分	881	852
純資産合計	56,642	59,405
負債純資産合計	68,699	72,160

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	40,347	43,461
売上原価	26,890	29,036
売上総利益	13,456	14,424
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	213	216
給料及び手当	3,425	3,515
賞与引当金繰入額	420	499
退職給付費用	277	126
役員退職慰労引当金繰入額	12	13
福利厚生費	779	803
賃借料	180	200
減価償却費	164	183
その他	3,344	3,921
販売費及び一般管理費合計	8,818	9,479
営業利益	4,637	4,945
営業外収益		
受取利息	207	241
受取配当金	183	189
為替差益	—	278
その他	138	183
営業外収益合計	529	893
営業外費用		
支払利息	8	8
有価証券運用損	49	—
投資有価証券売却損	9	48
為替差損	307	—
その他	88	47
営業外費用合計	463	104
経常利益	4,703	5,734
特別利益		
退職給付制度改定益	314	—
特別利益合計	314	—
特別損失		
固定資産処分損	126	—
投資損失引当金繰入額	154	—
特別損失合計	280	—
税金等調整前当期純利益	4,737	5,734
法人税、住民税及び事業税	1,530	1,812
法人税等調整額	△97	△156
法人税等合計	1,433	1,655
当期純利益	3,303	4,078
非支配株主に帰属する当期純利益	54	64
親会社株主に帰属する当期純利益	3,248	4,013



(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	3,303	4,078
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	544	△599
為替換算調整勘定	△161	△38
退職給付に係る調整額	223	△12
その他の包括利益合計	606	△650
包括利益	3,910	3,427
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,830	3,418
非支配株主に係る包括利益	79	9

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,188	7,896	39,838	△2,401	50,522
当期変動額					
剰余金の配当			△600		△600
親会社株主に帰属する当期純利益			3,248		3,248
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,647	△0	2,647
当期末残高	5,188	7,896	42,486	△2,402	53,170

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,524	731	△246	2,008	833	53,364
当期変動額						
剰余金の配当						△600
親会社株主に帰属する当期純利益						3,248
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	544	△186	223	582	48	630
当期変動額合計	544	△186	223	582	48	3,277
当期末残高	2,069	544	△22	2,590	881	56,642

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,188	7,896	42,486	△2,402	53,170
当期変動額					
剰余金の配当			△625		△625
親会社株主に帰属する当期純利益			4,013		4,013
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	3,387	△0	3,386
当期末残高	5,188	7,896	45,874	△2,402	56,556

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	2,069	544	△22	2,590	881	56,642
当期変動額						
剰余金の配当						△625
親会社株主に帰属する当期純利益						4,013
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△599	17	△12	△594	△29	△623
当期変動額合計	△599	17	△12	△594	△29	2,763
当期末残高	1,470	561	△35	1,996	852	59,405

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	4,737	5,734
減価償却費	593	607
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5	11
投資損失引当金の増減額 (△は減少)	154	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	68	92
受取利息及び受取配当金	△390	△431
支払利息	8	8
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,720	△81
たな卸資産の増減額 (△は増加)	349	△1,386
仕入債務の増減額 (△は減少)	819	405
その他	634	△384
小計	5,249	4,575
利息及び配当金の受取額	403	419
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額	△1,484	△1,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,160	3,455
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△405	△245
定期預金の払戻による収入	505	491
有価証券の売却及び償還による収入	412	403
有形固定資産の取得による支出	△744	△1,916
投資有価証券の取得による支出	△1,644	△1,197
投資有価証券の売却及び償還による収入	835	651
関係会社出資金の払込による支出	△612	—
貸付けによる支出	—	△947
貸付金の回収による収入	335	10
その他	△134	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,451	△2,808
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
セール・アンド・リースバックによる収入	—	92
配当金の支払額	△600	△625
非支配株主への配当金の支払額	△31	△38
その他	△20	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△652	△573
現金及び現金同等物に係る換算差額	△197	127
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,859	200
現金及び現金同等物の期首残高	11,464	13,323
現金及び現金同等物の期末残高	13,323	13,523

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主にポンプの製造・販売事業を行っており、各地域に存在する現地法人はそれぞれ独立した経営単位で、当社及び現地法人が、それぞれの地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」及び「中国」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書(2018年6月29日提出)における「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」の記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	日本	北米	中国	計				
売上高								
外部顧客への売上高	30,850	6,108	984	37,943	2,403	40,347	—	40,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,294	0	1,718	8,012	3,128	11,141	△11,141	—
計	37,144	6,109	2,702	45,956	5,531	51,488	△11,141	40,347
セグメント利益	3,917	763	204	4,885	423	5,308	△671	4,637
セグメント資産	39,685	5,741	4,487	49,915	6,226	56,141	12,557	68,699
その他の項目								
減価償却費	446	24	29	499	71	571	22	593
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	671	5	286	963	15	979	—	979

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△671百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△698百万円、たな卸資産の調整額23百万円及びその他3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・管理部等の管理部門に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額12,557百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産19,186百万円、たな卸資産の調整額△829百万円及びセグメント間取引消去△5,799百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	日本	北米	中国	計				
売上高								
外部顧客への売上高	32,127	7,279	1,446	40,854	2,606	43,461	—	43,461
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,135	0	2,062	9,199	3,668	12,867	△12,867	—
計	39,263	7,280	3,509	50,053	6,274	56,328	△12,867	43,461
セグメント利益	4,090	916	352	5,359	548	5,907	△962	4,945
セグメント資産	41,876	6,648	4,684	53,209	6,964	60,174	11,986	72,160
その他の項目								
減価償却費	469	28	16	514	71	585	22	607
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	950	529	568	2,048	43	2,092	—	2,092

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△962百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△840百万円、たな卸資産の調整額△129百万円及びその他6百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・管理部等の管理部門に係る費用であります。

(2) セグメント資産の調整額11,986百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産18,569百万円、たな卸資産の調整額△959百万円及びセグメント間取引消去△5,624百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の余資運用資金(現預金及び有価証券)、長期投資資金(投資有価証券)、繰延税金資産及び管理部門に係る資産等であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,227.01円	2,338.55円
1株当たり当期純利益	129.76円	160.29円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	3,248	4,013
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(百万円)	3,248	4,013
普通株式の期中平均株式数(千株)	25,038	25,038

(重要な後発事象)

該当事項はありません。